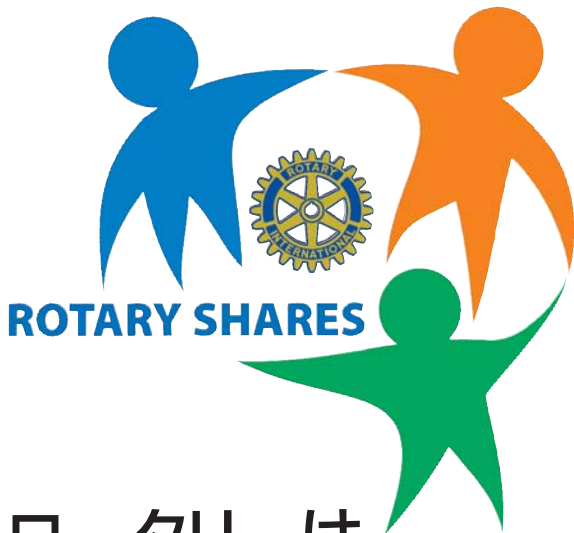




士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 21 No.2205



ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度RI会長
ウィルフリッド・J・ウィルキンソン



士別中学校 武田吉夫 画

- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所／士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234
- 会長／本山 忠之
- 副会長／三野 博司
- 幹事／千葉 繁夫

今日のプログラム

第2285回例会 2008年1月7日(月) 〈普通例会〉

■12月17日の記録■ 〈普通例会〉

- 司 会 志村孝幸会場監督
- 斉 唱 我等の生業
- 本日の出席 出席率79.37% 会員63名中、出席者50名
- 本日の欠席 阿達 勇、一瀬和則、犬伏彰吾、加藤 博、川橋勝美、北村浩史、国森和磨
斉藤 進、寺下隆通、鍋島 秀、吉川紀雄、中川涼一、中村徹雄
- メイクアップ
- ビジター
- ゲスト
- ニコニコBOX 山本俊一会員 クリスマスパティー終了
今井忠則会員 クリスマスパティービンゴゲーム特賞

累計 273,000円

例 会 予 定

■12月の予定……………(家族月間)

- 12月3日(月)／普通例会・年次総会・理事会
- 12月10日(月)／ファミリーパーティ
- 12月17日(月)／普通例会(卓話：菊地 博会員)
- 12月24日(月)／休会(振替休日：天皇誕生日)
- 12月31日(月)／特別休会

■1月の予定……………(ロータリー理解推進月間)

- 1月7日(月)／普通例会・理事会
- 1月14日(月)／休会(法定休日：成人の日)
- 1月21日(月)／普通例会
- 1月28日(月)／夜間例会

■会務報告……………本山忠之会長

- 12月もあと2週間あまりとなり、本日の例会をもって今年の例会を終了することとなりました。先週は名誉会員の田莉子市長をはじめ会員、家族の皆様をお迎えして、盛大にファミリーパーティーを開催できましたこと親睦活動家族委員会のメンバーにあらためてお礼申し上げます。参加して頂きました方々にも満足していただけたと思っております。

私にとりまして、今年はロータリーのことが頭から離れない一年でした。役員を選考、地区協議会への出席と、それを踏まえての活動計画書の作成、ガバナー公式訪問の対応、地区大会の参加、その他他団体との交流式典の参加など、そしてなにより毎週ある例会の会長会務報告が頭を悩ませるところでした。どうにか半年の任期を終えることができ、年が明ければなんとなく次年度の会長・幹事にバトンタッチするような気分になるのではないかと思いましたが、来年も例会の会務報告がありますし、社会奉仕も新入会員セミナーもこれからの事業でありますので、メンバーの皆様には今後ともご指導・ご協力の程お願い致します。

地方にとりまして不景気の底が見えない、政治も混迷・不祥事続きと明るい話題の少ない一年でありましたが、来年こそは良い年でありますことを願っております。年末年始と何かと忙しく過ごされると思いますが、健康に留意され、新年の例会でお会いできるのを楽しみにしております。今年一年ご苦労様でした。

■幹事報告……………千葉繁夫幹事

- ガバナー月信の12月号が届いております。忘れずにお持ち帰り下さい。
- 地区大会登録会員の皆様に、報告書と講演のCDが届いておりますのでお持ち帰り下さい。
- 各委員会委員長にお願いですが、委員会事業で支払いがございましたら今月25日までに幹事宛ご提出願います。
- 1月の例会日の確認ですが、7日普通例会・理事会、21日普通例会、28日夜間例会となっています。
- 明日18日、本山会長、川原社会奉仕委員長と幹事の3名で、ファミリーパーティーで皆様にご協力いただきました募金を社会福祉協議会へ寄付して

参ります。

- 下期会費、納入のお願いですが、3月中旬までに納入頂きますようご協力願います。

■会員卓話……………会員増強委員会委員 菊地 博会員



- 久しぶりの例会卓話の指名を受け、少し緊張を致しておりますが、お聞きを頂ければ幸いです。

今日のお話しは、既に一月以上経過致しておりますが、士別市との友好都市提携を行っております、愛知県三好町産業フェスティバルに参加をしてお話しと、11月15日から日本で、22年振りに開催されました、第39回技能五輪国際大会（技能オリンピック）に北海道からの出場選手の引率者並びに、北海道技能士会代表として行って来ました、お話しを簡単に纏めさせて頂きたいと思えます。

11月4日人口56,000人を有する全国で一番人口の多い町三好町で、産業フェスタみよし2007と称し、三好町さんさんの郷をメイン会場として、97のコーナー、総テント数112張り、来場者26,000人を迎えての産業フェスタに今年も、士別観光協会を代表して参加をして参りました。ちなみに今年には士別からは、吉田総務部長、山居副議長を始め8名での参加でした。

会場での士別コーナーは、毎年の事ですが、メインステージの正面で一等地、隣のコーナーは士別市と同じく友好都市を提携しています、長野県木曾町三岳のコーナーです。

士別市からの特産品販売は、例年の通り馬鈴薯、玉葱、南瓜等の農産物を中心に、5,600kg、金額562,500円相当、他イモモチ、士別産味付けジンギスカン60kg金額112,000円相当の試食販売、総売上674,500円の士別産野菜の販売と特産品のP

R販売を実施してまいりました。

さて一方、毎年参加をさせて頂きながらも、疑問を感じて帰って来るのですが、先にお話しを致しました通り、如何に特産品のPR販売と言えども、総体に係る金額の大きさに考えさせられる思いですが、友好都市との交流と言うならば、もっと効率の良い手法があると思います。人的交流から経済交流、そして観光PR言え、既に8年以上も経過をしているのですが、単に何年も行政再度を中心とした交流では、市民や町民に交流の輪を広げるには時間がかかり過ぎると思います。もっと真剣に関係団体が協議をし、実のある交流が必要ではないでしょうか。

次に、11月15日から18日まで静岡県沼津市を中心に開催されました、技能五輪国際大会についてのお話しです。

世界各国53の国と地域が参加して開催されました、技能オリンピックですが、日本は、48職種に51人が出場し、前評判の良かった韓国を抜き、金メダル数は16個と韓国に5個の差をつけ好成績でしたが、全体のメダル数では日本が32個、韓国は金11個全体で40個と驚異的な数字でありますし、スイスは金4個全体で33個と大奮闘がなされております。成績表を見て感じることは、如何に世界の技能を通してのものづくりレベルが高くなって来ているかが知らされるところです。

技能五輪に参加出来る選手の条件は、22才以下と言え技能の伝承並びに職業訓練指導の重要性を再認識させられると共に、如何に日本が手造り技能から機械化技能に依存をしたかが、この世界大会を通して知らされたしだいです。

我々技能職を生業とする者、また技能訓練関係団体を組織するリーダーとして今後の指導の有り方を見つめ直す時と、改めて認識をさせられる時でありました。

今大会のキャッチフレーズ「見せよう、伝えよう、技能で輝く個性と社会」です。技とそれがもたらすものの素晴らしさを知らせることも大会の目的でもありました。来場目標20万人を掲げたが、はるかにこえ60万人の来場者でありました。ただ残念なのは、日本中に知らされるテレビ局の対応であります。8月に造園職種の出場選手らを取り上げた30分番組が全国各局が放映致しましたし、

大会開催を伝えるニュースも報じられましたが、肝心の競技中の実況は十分に報じられませんでした。大会終了後しばらくして、NHK並びにフジテレビで放映がありましたが、日本での技能五輪は三度目、大阪大会以来22年振りの大会です。他のスポーツ番組等の過熱した放送とは行かずまでも、ものづくり立国日本と報じるならば、もう少しマスメディアの関心があっても良いのではないのでしょうか。

技能は国の宝であり、国を支えてきた文化であり、国の経済を支えた産業であり、地方地方に受け継がれた伝統の技であります。技能尊重を確りと伝えることの出来る社会づくりが必要ではないのでしょうか。

結びとなりますが、今日は指名された卓話の中で、二つの事について問題提起をしながら、お話しをさせて頂きましたが、舌足らずでご理解頂けない部分あるかと想いますが、会員の友情に免じてお許しを頂き、私の卓話とさせていただきます。